

## 教育・保育の「量の見込み」と「確保方策」について

「子ども・子育て支援事業支援計画」に定める教育・保育の「量の見込み」に対応する「確保方策」の数値を取りまとめたので報告するもの。

## 1 「量の見込み」と「確保方策」

※今後、市町村計画の修正等により変更があり得る。

			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
3歳以上・就学前	教育のみ	1号認定	量の見込み ①	63,055	62,789	61,650	60,828	60,066
			確保方策 ②	76,560	76,088	75,325	74,440	73,165
			特定教育・保育施設 (幼稚園・認定子ども園)	36,983	41,266	44,629	46,795	48,690
			確認を受けない幼稚園 (私学助成を受ける幼稚園)	39,577	34,822	30,696	27,645	24,475
			過不足 ②-①	13,505	13,299	13,675	13,612	13,099
	保育の必要性あり	2号認定	量の見込み ①	73,385	73,474	72,745	72,240	71,798
			教育ニーズ(幼児期の学校教育の利用希望が強い)	10,175	10,086	9,986	9,861	9,756
			保育ニーズ	63,210	63,388	62,759	62,379	62,042
			確保方策 ②	68,199	69,829	70,454	70,914	71,508
			特定教育・保育施設 (保育所・認定子ども園) 認可外保育施設(自治体が運営費支援を行っているもの)	67,772	69,315	70,027	70,487	71,081
過不足 ②-①	△5,186	△3,645	△2,291	△1,326	△ 290			
0～2歳	保育の必要性あり	3号認定	量の見込み ①	52,726	53,083	53,144	53,034	52,793
			確保方策 ②	51,733	53,735	55,339	55,891	56,487
			特定教育・保育施設 (保育所・認定子ども園)	49,881	51,396	52,634	53,036	53,462
			特定地域型保育事業	1,432	1,919	2,285	2,435	2,605
			認可外保育施設(自治体が運営費支援を行っているもの)	420	420	420	420	420
			過不足 ②-①	△ 993	652	2,195	2,857	3,694

○3歳以上の保育を要する子どもについて、各年度不足となっているが、当該子どもの「量の見込み」には教育ニーズが高いものが含まれており、これらの子どもについては、教育施設(幼稚園・認定子ども園)を利用すると考えられ、実質的には不足は生じない見込み。

(参考)

## 保育所利用児童数と保育ニーズ(量の見込み)の比較

	保育所利用児童数 (H26.10.1) ①	保育ニーズ (H27) ②	増加数 ②-①
3歳以上	64,028	74,031	10,003
0～2歳	48,525	52,726	4,201
計	112,553	126,757	14,204